波豆川源流から高平谷木器へ

第 107 回武庫川エコハイク
20160312 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km^2、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。
2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第１０位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川渓谷で V 字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。
ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22（2010）年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

波豆川（はずがわ） 昼ヶ岳を源流として途中宝塚市を抜け、羽束川とともに千苅水源池に流入する武庫川の支川。

羽束川・波豆川流域水質保全基金 神戸市が千苅貯水池を計画する際この辺りに河川の水質調査の結果羽束川、波豆川の水質の良さを確認している。この千苅水源池の水質を守るため流入する羽束川・波豆川流域の水質を保全するため神戸市が三田市、宝塚市とも協力して水質保全を図っている。設立平成 5（1993）年 3 月、基本財産 6 億円。

大磯 高畑峠を西に下った波豆川の集落。現在は閉鎖アスレチックコース跡がある。地名の由来は大船山が島だったころここらが磯だったという。

大磯の薬師堂 三田アスレチック場を過ぎた所の左手に小さなお堂がみえる。この堂内に薬師如来像が祀られている。

大磯のおこり地蔵（伝承） 昔、大船寺の参道で倒れていた旅の老僧を看病した村人の恩に感謝して頼みごとのある時は「おこりです。頼みます」と唱えなさい、といいおいて亡くなった。村人は地蔵を立てて老僧を葬った。このお地蔵様がご利益があることで有名になっら。

大船山（おおふなやま） 標高 653.1m、三田市北部の羽束川、波豆川に囲まれた地区に鋭い三角錐の秀麗な山容を見せている。地質は有馬層群の凝灰角礫岩から成り、これらの火山噴火物が残されたものと思われる。頂上には役小角（えんのおづぬ）を祀る祠がある。伝承では太古にはこの辺りは湖で大船山は島で船をつないだ松があったという。古くは大舟山といわれた由縁である。

大舟寺（たいしゅうじ） 黄檗宗の寺。およそ 1200 年前、百済の国から僧日羅がこの山で修行し大船山に舟寺というお寺を創建したと伝えられる。後に弘法大師がお堂を建て大舟寺と呼ばれるようになったという。明応 8（1499）年大舟寺は東山麓の松尾谷に移されて現在に至っている。大船山の大舟寺跡は「テラヤシキ」と呼ばれ山頂付近に残っている。境内には樹齢 500 年といわれる榧（カヤ）の大木があり県指定天然記念物となっている。また 2 層茅葺の鐘楼は天明 3（1783）年創建で大変珍しく貴重なものである。

内田池 波豆川の最上流にあるため池。昼ヶ岳（標高 595m）の中腹になる。上下 2 段になっている。内田池の標高 480m。

昔ながらの風景 波豆川公民館周辺の風景は昔ながらの原風景が広がる。

ツク田の北向き地蔵（伝承） 昔藩主の田に魚がたくさんいたが村人は藩主を怖れて魚をとらなかったが、あるとき一人が魚を取り食べたところ腹痛になったので。村人は地蔵の崇りということで地蔵の向きを北向きに変えたという。

殿墓（とのばか）かってこの辺りに広松寺があったというが今はない。殿墓と呼ばれる立派な五輪塔がある波豆神社の五輪塔に酷似しており三田市の指定文化財となっている。

八坂神社 この地は多田院の直轄地であり古い歴史を持つ。大永 2（1522）年再建の文書が残る。社前の木橋と朱塗りの両部鳥居は珍しい。

波豆川サイノカミ 波豆川口の交差点の南西側にある。ここは集落への入口にあたる。西所の隣保９件が 11 月 23 日の夕刻から集まって祭る。「塞の神」とも書き村の出入口に祭られる事多い。

大坂峠の泣き地蔵 大坂峠に行く途中の道の北側にあるお地蔵さん。夜泣きの激しい母親が姑に子育てが下手だといわれてお地蔵さんにお願いすると不思議なことに夜泣きが止まった。これから「夜泣き地蔵」「笑い地蔵」と呼ばれるようになった。

大坂峠の水のみ地蔵 昔このあたりに古狸と女狐がいた。2 匹はお供えの清水とお供え物を食べていた。2 匹が鉢合わせして争っていると、猿が来て 2 匹に化け比べをさせてその間にお供え物を食べてしまったという。

木器（こうずき） 地名のいわれには諸説があるが、木地師（木工職人）が木の器を作っていたことにちなむものである説が強い。

興福寺 源義経の守護尊弘法大師作と伝えられる聖観世音菩薩を那須与一が預かり興福寺に預けていった。寺は秘仏としている。墓地にある応安 5（1372）年の銘がある宝筐印塔ほか 2 点の石造物が県指定文化財となっている。

木器天満神社 木器村の鎮守の社。拝殿長床上に奉納額が掲げられている。

岡村酒造場 三田にある酒造家 2 軒のうちの 1 軒。明治 22（1889）年創業、銘柄は「千鳥正宗」。もとは「山草正宗」と言っていたが、懐石の折亭主から主客、主客から、次客、次客から亭主と千鳥に酌み交わしたことから「千鳥正宗」としたという。

高平谷 大船山の西側に広がる谷は高平谷と呼ばれ、中央を羽束川が流れる。

羽束川（はつかがわ） 武庫川最大の支流で、源流は大阪府能勢町天王の深山（みやま、標高 791m）。途中篠山市篭坊温泉、後川（しつかわ）、三田市高平を経て宝塚市波豆で波豆川を合流して千苅水源地に注ぐ。武庫川には武庫川峡谷の直上流の神戸市道場で合流する。流域面積 95 千 km^2（武庫川流域の 19%）、長さ 32km、高低差 360mで武庫川本流よりも勾配が大きい。「羽束」は「波都加之（はづかし）」から出、「泥部（はづかしべ、石の職人）」の住む所という説がある。「波豆」の語源も同意と考えられる。上後川渓谷、羽束川渓谷、高平谷の景観は美しい。上後川渓谷は兵庫県猪名川渓谷自然公園に属す。

下山家 鎌倉時代以降、この流域は多田荘の御家人が住んでいた所。木器村の首領は下山氏で大庄屋であった。下山元国鉄総裁の実家である。